

**製品名: SPHK1 (リン酸化 Ser225) ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab06084**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください (12 ヶ月有効)。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率 WB 1:500-1:2000

分子量

**抗原情報**

遺伝子名	SPHK1
別名	Sphingosine kinase 1 (SK 1) (SPK 1) (EC 2.7.1.91)
遺伝子 ID	8877.0
SwissProt ID	Q9NYA1
免疫原	ヒト SPHK1 (リン酸化 Ser225) 由来の合成ペプチド

**背景**

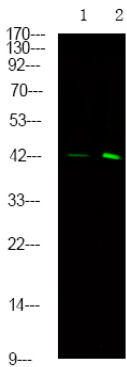
触媒活性:  $\text{ATP} + \text{スフィンガニン} = \text{ADP} + \text{スフィンガニン 1-リン酸}$ 。触媒活性:  $\text{ATP} + \text{スフィンゴシン} = \text{ADP} + \text{スフィンゴシン 1-リン酸}$ 。補因子: マグネシウム。機能: スフィンゴシンのリン酸化を触媒し、細胞内外の機能を持つ脂質メディエーターであるス

フィンゴシン 1-リン酸 (SPP) を生成します。また、D-エリスロ-スフィンゴシンにも作用し、スフィンガニンにも作用しますが、D,L-スレオ-ジヒドロスフィンゴシン、N,N-ジメチルスフィンゴシン、ジアシルグリセロール、セラミド、ホスファチジルイノシトールなどの他の脂質には作用しません。類似性: 1つの DAGKc ドメインを含みます。サブユニット: ACY1 と相互作用します (類似性による)。カルモジュリンに結合します。SPHKAP と相互作用します。組織特異性: 成人の肝臓、腎臓、心臓、骨格筋で最も高いレベルで広く発現します。、

## 研究分野

-

## 画像データ



MCF-7 細胞 1 個、LPS 100 ng/mL 30 分処理 2 個を、一次抗体を 1:1000 希釈でウェスタンブロット分析した。二次抗体は 1:10000 希釈で行った。